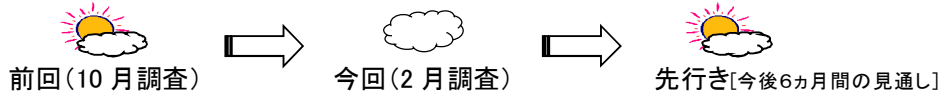




都内企業の景況感

—第123回企業動向調査結果 平成28年2月実施—



◎ 都内中小企業の景況は悪化、先行きは改善を期待。

1. 都内中小企業の景況をみると、自社業況判断DI*が、前回の11.3から今回-4.3へと15.6ポイント低下、悪化している。先行きについて同DI*は2.7へと上昇する見通し。	(景気指標 DI)	前回	⇒	今回	⇒	(先行き)
	自社業況判断 DI*	11.3	⇒	-4.3 (前回予想 14.7)	⇒	2.7
2. 売上高DI*は、前回の2.7から今回-5.9へと8.6ポイント低下、経常利益DI*は、3.3から-9.0へ12.3ポイント低下した。先行きについて売上高DI*、経常利益DI*ともに上昇する見通し。	売上高 DI*	2.7	⇒	-5.9 (前回予想 5.2)	⇒	-0.3
	経常利益 DI*	3.3	⇒	-9.0 (前回予想 4.5)	⇒	2.9
3. 価格DIを見ると、販売価格DIは、今回0.3と5.0ポイント低下、仕入れ価格DIは10.0と7.1ポイント低下した。先行きは、販売価格DI、仕入れ価格DIともに低下する見通し。	販売価格 DI	5.3	⇒	0.3	⇒	-4.5
	仕入れ価格 DI	17.1	⇒	10.0	⇒	4.8
4. 資金需要DIをみると、設備資金需要DI*は、前回の8.8から今回4.6へと4.2ポイント低下し、運転資金需要DI*は前回の7.6から今回2.8へと4.8ポイント低下した。先行きは、両DI*ともに上昇する見通し。	製造業製品在庫 DI*	-11.1	⇒	-9.3	⇒	...
	設備資金需要 DI*	8.8	⇒	4.6	⇒	9.8
5. 金融機関借入難易感DIは、今回24.0と1.6ポイント上昇、資金繰りDIは、今回5.9と0.9ポイント上昇した。	運転資金需要 DI*	7.6	⇒	2.8	⇒	5.8
	金融機関借入 難易感 DI	22.4	⇒	24.0	⇒	...
6. 経営上の問題点は、前回と同じ順位となった。第1位は「同業他社との競合」がシェア16.0%、第2位は、「人材難」が14.2%、第3位は、「労働力不足・求人難」で12.9%、第4位は、「売上不振」で12.5%、第5位は、「原材料高・仕入価格高」で7.8%、第6位は、「人件費等経費の増加」で6.8%、第7位は、「取引先からの値引き要請」5.7%、第8位は、「合理化不足」5.1%であった。	資金繰り DI	5.0	⇒	5.9	⇒	...
	(経営上の問題点)	(前回%)		(今回%)		
	同業他社との競合	16.8	⇒	16.0		
	人材難	13.5	⇒	14.2		
	労働力不足・求人難	13.2	⇒	12.9		
	売上不振	12.7	⇒	12.5		
	原材料高・仕入価格高	9.0	⇒	7.8		
	人件費等経費の増加	5.9	⇒	6.8		
	取引先からの値引き要請	5.6	⇒	5.7		
	合理化不足	5.1	⇒	5.1		

1. DI値は、アンケート回答総数を100%とした場合の、「好転」又は「増加」企業割合から「悪化」又は「減少」企業割合を差し引いた数値です。
 2. 天気図は自社業況判断*、売上げ*、経常利益*、設備資金需要*の4指標の平均値(前回 6.5、今回-3.7、先行き 3.8)で判断したもの。前回は「晴れ時々曇り」今回は「うす曇り」、先行きは「晴れ時々曇り」。
 3. 季節調整済みの指標には、*マークを添付。原数値の指標はマークなし。
 4. 「先行き」「見通し」は、今後6ヶ月間の見通し。